

西部地区 歴史文化の視点1

# 7. 播磨と備前の国境

## 【ストーリー】

J R備前福河駅は兵庫県赤穂市一。昭和 38 (1963) 年の越県合併までは、福浦は岡山県に属していた。この地区には、江戸時代に建てられたと思われる「播磨備前国境石」が今も残されている。ここから、瀬戸内海に浮かぶ取揚島を見通し

たラインが、播磨と備前の海の国境であった。

かつての国境には鳥打峠があり、旧街道が通っていた。備前街道ではないもう一つの街道として、旅人の安全を祈る地蔵や道案内の道標が、今も多く残されている。



一本松の地蔵



鳥打峠の地蔵



真木地蔵



播磨備前国境石



赤の峠の地蔵

